

特定非営利活動法人 子ども健康フォーラム
茨城県立こども病院
社会福祉法人中央共同募金会
マニユライフ生命保険株式会社

－第 6 期子どもの療養環境改善のための特別支援プロジェクト－
個室に閉じこもりがちな思春期の子ども達のための
茨城県初『マニユライフわくわくる一む』が完成
茨城県立こども病院（茨城県）に 2 月 3 日（月）よりオープン

茨城県立こども病院（病院長：土田昌宏）は、NPO 法人「子ども健康フォーラム」（理事長：長嶋 正實）の支援協力のもと、療養中の小児患者を対象にした本格的な新プレイルーム『マニユライフわくわくる一む』が完成を迎え、2 月 3 日（月）より正式にオープンの運びとなりました。当日は、茨城県立こども病院長をはじめとした病院関係者をはじめ、NPO 法人「子ども健康フォーラム」、マニユライフ生命保険株式会社の代表者が出席し、贈呈式および内覧会が行われました。

『マニユライフわくわくる一む』開設特別支援プロジェクトは、NPO 法人「子ども健康フォーラム」が取り組む子どもの療養環境改善活動の一環として、同 NPO 法人がマニユライフ生命保険株式会社の特別協賛と社会福祉法人中央共同募金会の協力を得て 2008 年より開始した活動です。療養中の子どもたちの心のケアのための中核施設としての“プレイルーム”の意義を啓発し、活用の充実と質的向上を促進するモデル・プレイルームの設置と運営を支援しています。第 6 期となる今回は、全国で 10 番目の『マニユライフわくわくる一む』で、茨城では初めての設置となります。

療養中の子どもたちをとりまく環境は、治療のストレス軽減のため、医療環境から離れた家庭を思い起こさせるようなリラックスできる空間作りや、他児との関わり合いの中で社会性を育む機会の提供など“療養環境の充実”が不可欠といわれています。茨城県立こども病院の土田病院長は次の様に述べています。「ティーンエイジャーのためのわくわくる一むを寄贈頂いて感銘を受けました。当院のことをご理解頂けて感謝しております。今回 10 件目ということで、これまでの 9 件からアドバイスを受けながら、施設を運営していきたいと思えます。」わくわくる一むの設置について、マニユライフ生命の吉田範章茨城リージョナルオフィス セールスディレクターは次のように述べています。「今回のわくわくる一む設置にあたり、ご尽力いただいた皆様に感謝するとともに、入院している子どもたちが、明るく元気に過ごせるように願っています。」



オープンを記念しテープカットを実施
左から、NPO法人子ども健康フォーラム 副理事長 渡邊芳夫、
茨城県立こども病院 病院長 土田昌宏、マニユライフ生命保険(株)
茨城リージョナルオフィス セールスディレクター 吉田範章

茨城県立こども病院 マニユライフわくわくる一む

■茨城県立こども病院『マニュアルわくわくるーむ』 概要

茨城県立こども病院

住所：茨城県水戸市双葉台 3-3-1

茨城県立こども病院は、1985年に茨城県により創設された、こどものための専門病院です。設立早期から世界有数のカナダのカルガリにある、アルバータ小児病院 <http://www.calgaryhealthregion.ca/ACH/> との姉妹提携を結んでおり、「こどもと家族を支える病院」という目標を共有しています。



同病院には、病棟・外来の各所にプレイルームが設置されていますが、主に乳幼児や学童期の子ども達が対象となっており、思春期の子ども達は入院中のほとんどを病室で過ごしています。思春期には思春期特有の発達課題・ニーズがありますが、そのニーズに答えられていないのが現状です。マニュアルわくわくるーむは、そうした思春期の子ども達向けのプレイルームとして、同年代の子ども達が触れ合い、学習・趣味を広げる場を提供し、年齢にあった活動を楽しめるような落ち着いた環境を目指しました。



カラフルな食器が並ぶダイニングテーブル



兄弟や、同世代の入院患者と遊べるゲームも充実



ダイニングテーブル、ソファ、パソコン、電子ピアノ



漫画本、DVD、雑誌が並ぶ本棚



電子レンジ、ホットプレート、冷蔵庫などのキッチン用品

<ご参考資料>

『マニユライフわくわくる一む』プロジェクトとは

カナダをはじめとする欧米の小児医療先進国に比べても遜色ない施設、運営方式を取り入れた、国内で最も先進的な小児専門病院のひとつとして知られている愛知県立あいち小児保健医療総合センター（愛知県大府市）にて現在運用中のプレイルーム「わくわくる一む」をモデルとして、新規に導入を希望する全国の小児医療施設に、マニユライフ生命からの寄付金をもとに、理想的なプレイルーム『マニユライフわくわくる一む』の設置・運営を支援するものです。



あいち小児保健医療総合センター
「わくわくる一む」

【現在設置されている全国の『マニユライフわくわくる一む』】

- ・近畿大学医学部附属病院（大阪府）：病室を改修した病棟プレイルーム（2008年）
- ・豊田厚生病院（愛知県）：短期入院用と中長期入院用の2つの病棟プレイルーム（2008年）
- ・大阪市立総合医療センター（大阪府）：思春期コーナーがある病棟プレイルーム（2009年）
- ・中部ろうさい病院（愛知県）：病棟プレイルーム・処置室に連動した外来プレイコーナー（2009年）
- ・旭川厚生病院（北海道）：乳幼児コーナーを設けた病棟プレイルーム（2010年）
- ・大阪府立母子保健総合医療センター（大阪府）：国内初の青少年向けプレイルーム（2010年）
- ・滋賀県立小児保健医療センター（滋賀県）：重症心身障害児向け病棟プレイルーム（2011年）
- ・公益財団法人星総合病院（福島県）：東北地方初 本格的プレイルーム（2013年）
- ・心身障害児総合医療療育センター（東京都）：心身障害児向けプレイルーム（2013年）

茨城県立こども病院について

1985年に茨城県により「将来を担うこどもの生命をまもり、心身ともに健やかに育てる」という理念のもとに創設された、こどものための専門病院です。茨城県における小児医療の中核的な役割を担っています。小児がんと骨髄移植、先天性心疾患の診断及び心臓血管外科手術、新生児・小児外科の外科手術、症に集中治療などを行うとともに、水戸済生会創造病院との連携により、茨城県総合周産期母子医療センターとして新生児の集中、さらには小児救急拠点病院として、24時間365日紹介患者や救急車の受け入れを担っています。

NPO「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要・不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児保健医療施設である「あいち小児保健医療総合センター」（愛知県大府市）をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。（ホームページアドレス <http://www.npo-cln.org/>）

社会福祉法人中央共同募金会について

社会福祉法人中央共同募金会は、全国47都道府県共同募金会の連合体で、赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。また、寄付金の受入れおよび調整や、民間助成資金・公益信託などの取扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。NHKとの共催による「NHK歳末たすけあい」、ボランティア活動の推進なども行っています。

マニユライフについて

マニユライフ生命は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業です。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、主にアジア、カナダ、米国を中心に事業を展開しているカナダ系大手金融サービス・グループです。同グループは信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を提供し、お客さまのご期待に応え続けています。同グループの職員、エージェントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、機関投資家のお客さまには、資産運用サービスもご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャル社とその子会社の管理運用資産は、2013年9月30日現在5,750億カナダドル（5,590億米ドル）となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフ・ファイナンシャルとして、米国においては主にジョン・ハンコックのブランドで事業を展開しています。マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャル社についての詳細はウェブサイト（www.manulife.com）をご覧ください。